

中部電力株式会社・弘前大学大学院理工学研究科 共同研究講座「リチウム資源循環工学講座」設置開式を挙

大学院理工学研究科は、令和4年4月21日（木）、中部電力株式会社・弘前大学大学院理工学研究科の共同研究講座「リチウム資源循環工学講座」設置開式を執り行いました。

本共同研究講座は、リチウム回収技術の確立に向け、4月1日、弘前大学大学院理工学研究科に設立されました。本講座での共同研究には、トヨタ自動車株式会社も参画します。

2020年に弘前大学が考案した、電解質膜を利用した電気透析法によりリチウムを濃縮・回収する技術に、中部電力が有する電気制御の最適化やエネルギー効率化に関する知見と、トヨタ自動車のリチウムイオン電池開発の知見を組み合わせることで、従来の方法を大きく上回る回収速度の向上や省エネルギー化による効率的なリチウム回収技術を確立すべく基礎研究を行います。

福田眞作学長からは、「これまでに『高効率リチウム資源回収技術の創成』に関する研究を、大学の看板となりうる卓越した研究として『次世代機関研究』に採択し重点的に支援を行ってまいりました。この度、中部電力株式会社のご支援により、共同研究講座としてリチウム資源循環工学講座を設立することができました。」との挨拶がありました。



出席者による記念撮影



福田眞作学長挨拶



研究代表者の佐々木一哉教授



岡崎雅明研究科長挨拶